

**東御市 男女共同参画社会に向けての
企業意識調査**

調査票

令和7年9月 日()までにご回答をお願いします。

事業所の概要について

問1 貴社の業種は何ですか。1つだけ○をしてください。

- | | |
|-------------|------------|
| 1 建設業 | 5 金融・保険業 |
| 2 製造業 | 6 サービス業 |
| 3 運輸・通信業 | 7 その他（具体的に |
| 4 卸・小売業、飲食店 | ） |

問2 貴社の従業員は何名ですか。（下表に人数を記入してください）

従業員数		正社員	非正規 労働者	その他
	男 性	名	名	名
	女 性	名	名	名
	計	名	名	名

女性の登用・女性活躍について

問3 貴社の管理職や監督職は何名ですか。下欄に人数を記入してください。

管理職（課長相当職以上）	男性	_____名	女性	_____名
監督職（係長、班長等相当職）	男性	_____名	女性	_____名

問4 貴社は女性を役職（管理職・監督職）へ登用することについてどのようにお考えですか。
あてはまるもの1つに○をしてください。

- 1 本人の能力や意思によって男女の区別なく役職へ登用したい。
- 2 女性に適した職種や業務については役職へ登用したい。
- 3 女性を役職へ登用するつもりはない。
- 4 登用したくてもできない。
- 5 その他（具体的に

問5 貴社が女性を管理職に登用するうえで取り組みが必要だと思われることについて、あてはまるものすべてに○をしてください。

- 1 女性のためのモチベーションアップやキャリア形成、管理職等を養成するための研修機会の付与
- 2 女性の継続就業（育児休業等からの職場復帰など）に関する支援
- 3 ロールモデル（手本となる先輩社員）の育成
- 4 超過勤務削減などワーク・ライフ・バランスを促進させる取り組み
- 5 女性の採用（新規・経験者）を増やす取り組み
- 6 公正・透明な人事管理制度、評価制度の構築
- 7 男性や経営者（トップ）、管理職に対する女性の活躍の必要性についての理解促進
- 8 女性の管理職登用に係る目標の設定
- 9 セクシュアルハラスメント防止など職場環境の整備
- 10 職場内・職場外研修など、人材育成の機会を男女同等に与えること
- 11 メンター（指導者・助言者）制度の導入
- 12 採用、昇進、配置においての要件（転勤要件など）の緩和
- 13 ジョブローテーション（社員の能力向上を目的とした、戦略的な部署異動）の採用
- 14 転勤先の希望を考慮する等の転勤時の配慮、転居を伴う転勤の際に夫婦帯同を認めること
- 15 出産や育児に対する代替要員確保の助成事業等の支援策
- 16 特になし
- 17 その他（具体的に： ）

問6 貴社での女性活躍推進の取り組みについて、あてはまるもの1つに○をしてください。

- 1 取り組んでいるか、今後取り組む予定がある（→問6—1へ）
- 2 取り組んでいない、又は今後も取り組む予定はない（→問6—2へ）

問6-1 取り組んでいる内容について、項目ごとにあてはまるもの1つに○をしてください。

項 目	実施して いる	実施に向 け検討中	実施の予 定はない
A 女性の継続就業を目的とした支援	1	2	3
B 女性のモチベーションや就業意識を高めるための研修機会の付与	1	2	3
C 性別にとらわれない公正な人事管理制度、評価制度の構築	1	2	3
D 女性のいない、又は少ない職務に積極的に女性を採用、配置	1	2	3
E 積極的に役職の登用を図る	1	2	3
F 管理職の男性や同僚男性に対する意識啓発	1	2	3
G 時間外勤務の削減	1	2	3
H その他（具体的に： ）	1	2	

問6-2 取り組みをしない理由について、あてはまるものすべてに○をしてください。

- 1 既に女性は十分に活躍しており、現状で問題ないから
- 2 女性社員は少数だから
- 3 女性社員の意識が伴わないから
- 4 必要性を感じないから
- 5 その他（具体的に：_____）

問 7-1 貴社では女性の活躍を推進することは必要だと思いますか。あてはまるもの1つに○をしてください。

- 1 必要だと思う
- 2 どちらかといえば必要だと思う
- 3 必要だと思わない
- 4 どちらかといえど必要だと思わない
- 5 わからない

問 7-2 問 7-1 で「必要だと思う」「どちらかといえば必要だと思う」と回答した理由について、
あてはまるものすべてに○をしてください。

- 1 女性の能力が有効に発揮されることにより、経営の効率化を図るため
- 2 男女社員の能力発揮が生産性の向上や競争力強化につながるため
- 3 働きやすく公正に評価される企業として認められ、良い人材を確保できるため
- 4 職場全体としてのモラル（やる気）の向上に資するため
- 5 顧客ニーズに的確に対応するため
- 6 企業イメージの向上を図るため
- 7 社員の意識改革や価値観の多様化に対応するため
- 8 男女ともに職務遂行能力によって評価されるという意識を高めるため
- 9 労働力人口の減少が見込まれるため
- 10 社会的趨勢（すうせい）であり、法律で規定されているため
- 11 その他（具体的に： ）

問 8 貴社では女性社員が活躍するのに阻害となっていると思われるものについて、あてはまるもののすべてに○をしてください。

- 1 女性特有のライフイベントを考慮する必要がある
- 2 家庭で女性が社員として働くことへの理解が得られない
- 3 上司や同僚の男性の認識、理解が不十分
- 4 顧客や取引先を含む社会一般の認識、理解が不十分
- 5 時間外労働、深夜勤務をさせにくい
- 6 重量物や危険有害業務など法規制により女性が従事できない業務がある
- 7 特にない
- 8 その他（具体的に： _____）

制度や規則について

問9 次の法律や条例・計画や取り組みをご存知ですか。

次のA～Nのすべてについてお答えください。それぞれ1つだけ○をしてください。

	1 知っていて 実行している	2 知っていて 実行していない	3 聞いたことはあるが 内容はわからない	4 知らない
記入例…1～4の1つに○	①	2	3	4
A 育児・介護休業法	1	2	3	4
B パートタイム労働法	1	2	3	4
C 産後パパ育休	1	2	3	4
D 男女共同参画社会基本法	1	2	3	4
E 次世代育成支援対策推進法	1	2	3	4
F くるみん・プラチナくるみん認定	1	2	3	4
G 社員の子育て応援宣言	1	2	3	4
H 東御市男女共同参画推進条例	1	2	3	4
I 東御市男女共同参画推進計画	1	2	3	4
J 女性活躍推進法	1	2	3	4
K 職場いきいきアドバンスカンパ ニー認証	1	2	3	4
L えるぼし認定	1	2	3	4
M イクボス・温かボス宣言	1	2	3	4
N 旧姓使用	1	2	3	4

働きやすい職場づくりに関する取り組みについて

問 10-1 貴社の出産・育児に関する支援について（正規雇用社員に関してお答えください。）

（１）産前産後休業制度利用中の社員への給料支援・経済的支援について、あてはまるもの１つに○をしてください。）

- １ 通常勤務時の給料を支給している。
- ２ 通常勤務時の給料を減額（６割・８割等）して支給している。
- ３ 無給である。
- ４ その他（具体的に

（２）育児休業制度について、あてはまるもの１つに○をしてください。

- １ 就業規則等で整備されている。

○整備されている場合、育児休業等を利用した社員は、令和６年年４月１日から令和７年３月３１日の期間、対象の社員に対してどのくらいの割合でしたか。

	期 間	男 性	女 性
育児休業	３ヶ月未満	%	%
	３ヶ月～６ヶ月未満	%	%
	６ヶ月～１２ヶ月未満	%	%
	１２ヶ月以上	%	%
育児短時間勤務の制度		%	%
育児に参加するための休暇		%	

- ２ 現在は整備されていないが、整備に向けて検討中である。
- ３ 整備されていない。（当面整備する予定はない。）
- ４ その他（具体的に

（３）育児休業制度利用中の社員への給料支援・経済的支援について、あてはまるもの１つに○をしてください。

*（２）で「１ 就業規則等で整備されている。」と答えた事業所の方がお答えください。

- １ 通常勤務時の給料を支給している。
- ２ 通常勤務時の給料を減額（６割・８割等）して支給している。
- ３ 無給である。
- ４ その他（具体的に

問 10-2 貴社の出産・育児に関する支援について（非正規雇用社員に関してお答えください。）

（1）産前産後休業制度利用中の社員への給料支援・経済的支援について、1つに○をしてください。

- 1 通常勤務時の給料を支給している。
- 2 通常勤務時の給料を減額（6割・8割等）して支給している。
- 3 無給である。
- 4 その他（具体的に _____）

（2）育児休業制度について、1つに○をしてください。

- 1 就業規則等で整備されている。

○整備されている場合、育児休業等を利用した社員は、令和6年年4月1日から令和7年3月31日の期間、対象の社員に対してどのくらいの割合でしたか。

育児休業	期 間	男 性	女 性
	3ヶ月未満	%	%
	3ヶ月～6ヶ月未満	%	%
	6ヶ月～12ヶ月未満	%	%
	12ヶ月以上	%	%
育児短時間勤務の制度		%	%
育児に参加するための休暇		%	

- 2 現在は整備されていないが、整備に向けて検討中である。
- 3 整備されていない。（当面整備する予定はない。）
- 4 その他（具体的に _____）

（3）育児休業制度利用中の社員への給料支援・経済的支援について、1つに○をしてください。

*（2）で「1 就業規則等で整備されている。」と答えた事業所の方がお答えください。

- 1 通常勤務時の給料を支給している。
- 2 通常勤務時の給料を減額（6割・8割等）して支給している。
- 3 無給である。
- 4 その他（具体的に _____）

問 11 貴社の女性正規雇用社員の出産後の継続就業率の状況は、令和6年4月1日から令和7年3月31日の期間、次のうちどれでしたか。あてはまるものに○をしてください。

- 1 80%以上の者が、出産後も正規社員として働き続けている。
- 2 60%～80%未満 "
- 3 40%～60%未満 "
- 4 20%～40%未満 "
- 5 20%未満 "

問 12 貴社の育児休業制度を利用する際の課題について、あてはまるものすべてに○をしてください。

※育児休業を取得した社員がいない場合も回答してください。

- 1 代替要員の人材確保が困難
- 2 復帰した際の代替要員の処遇が困難
- 3 人材派遣、所定外勤務の発生など企業側の経済負担が大きい
- 4 上司、同僚の理解が得にくい
- 5 顧客や取引先の理解が得られない
- 6 必ず復職するかどうか保証がない
- 7 その他（具体的に： _____）

問 13 貴社の育児休業制度以外に社員の育児に関する支援制度について、あてはまるものすべてに○をしてください。

- 1 始業／就業時刻の繰下げ、繰上げ
- 2 転勤・配置転換の考慮
- 3 フレックスタイム制
- 4 短時間正社員制度
- 5 事業所内託児施設の設置
- 6 育児サービス利用に対する経済的支援
- 7 テレワーク・在宅ワーク
- 8 その他（具体的に： _____）

問 14 貴社の社員の育児休業中の代替要員を配置するにあたり、あてはまるもの1つに○をしてください。

- 1 配置した（→ 問 14—1 へ）
- 2 配置していない（→ 問 14—2 へ）
- 3 育児休業を取得した社員がない

問 14—1 代替要員をどのように確保したか、あてはまるもの1つに○をしてください。

- 1 他の部署からの配置転換
- 2 採用期間限定の従業員を採用
- 3 人材派遣会社からの派遣で対応
- 4 その他（具体的に： _____）

問 14—2 配置していない理由について、あてはまるものすべてに○をしてください。

- 1 経費の負担が増すから
- 2 代替要員が仕事を出来るようになるまでに時間と手間がかかるから
- 3 社員が取得した育児休業期間が短いから
- 4 他の従業員でシェアすることが可能だった
- 5 業務を見直したため雇用する必要がなかった

問 15 貴社の子育て支援策について、あてはまるものすべてに○をしてください。

- 1 3歳未満もしくは、保育所に通園している子どもがいる親は夜勤免除の制度がある。
- 2 子どもが小学生の間ぐらいまでは、早めに帰宅できるなど働き方が選べる。
- 3 育児休業制度がある。
- 4 託児または保育施設が完備されている。
- 5 子育てについての支援策はない。
- 6 その他(具体的に

問 16 貴社の介護休業制度について、1つだけ○をしてください。

- 1 就業規則等で整備されている。(正規雇用社員に関してお答えください。)

○整備されている場合、令和6年4月1日から令和7年3月31日まで、何名の方が利用しましたか。(下記表に延べ人数を記入してください)

	期 間	男 性	女 性	計
介護休業	3ヶ月未満	名	名	名
	3ヶ月～6ヶ月未満	名	名	名
	3ヶ月～12ヶ月未満	名	名	名
	12ヶ月以上	名	名	名
介護短時間勤務の制度		名	名	名

- 2 現在は整備されていないが、整備に向けて検討中である。
- 3 整備されていない。(当面整備する予定はない。)
- 4 その他(具体的に

問 17 貴社の介護休暇制度について、1つだけ○をしてください。

- 1 就業規則等で整備されている。(正規雇用社員に関してお答えください。)

○整備されている場合、令和6年4月1日から令和7年3月31日まで、何名の方が利用しましたか。(下記欄に人数を記入してください。)

(取得状況：男性 名 女性 名)

- 2 現在は整備されてないが、検討中である。
- 3 整備の予定はない。
- 4 その他(具体的に

問 18 貴社のハラスメント防止の対策について、あてはまるものすべてに○をしてください。

- 1 事業者として防止に関する方針を明確にし、管理職や社員に周知している。
- 2 就業規則等に関係規定を整備している。
- 3 管理職や社員を対象にした研修や、啓発資料の作成・配布をしている。
- 4 相談、苦情の対応のための窓口を整備し、発生した場合には迅速に対応できる体制をとっている。
- 5 特に対策はとっていない。

問 19 貴社の能力の向上や、役職への登用などを目的として開催する研修会等への社員の参加について、あてはまるものすべてに○をしてください。

- 1 男女とも区別することなく同じ内容の研修会等に参加している。
- 2 男性と女性で違う内容の研修会等に参加している。

主な内容を記入してください。

男性社員対象：

女性社員対象：

- 3 その他（具体的に

問 20 貴社の「働き方改革（長時間労働の是正、ワーク・ライフ・バランスの実現）」に関する制度について、導入している制度すべてに○をしてください。

- 1 短時間正社員制度
- 2 育児介護の短時間勤務制度の法定超の取組
- 3 フレックスタイム制度
- 4 時差出退勤制度
- 5 在宅勤務・直行直帰型のテレワークに関する制度
- 6 転勤など勤務地移動に関する制度
- 7 有期雇用者の正社員転換制度
- 8 その他（具体的に
- 9 導入していない。

問 21 貴社の女性の継続就業を推進する上での課題について、あてはまるものすべてに○をしてください。

- 1 出産や育児で長期休業したときに代替要員が確保できない
- 2 女性が担当できる仕事に限られている
- 3 女性の意識が伴わない
- 4 長時間労働が多く、家庭との両立が難しい
- 5 経営者（トップ）の意識が伴わない
- 6 交代勤務や夜勤の勤務が多い
- 7 継続就業（育児休業からの復帰支援など）に関する支援がない
- 8 業績に直接反映されない
- 9 特にない
- 10 その他（具体的に： _____）

問 22 貴社における、働きやすい職場環境づくりに関する認定の取得状況について、あてはまるものすべてに○をしてください。

- 1 女性活躍推進企業としてえるぼし認定を受けている
- 2 子育てサポート推進企業としてくるみん認定を受けている
- 3 その他、企業の人材活用に関する国の認定を受けている（健康経営優良法人認定など）
- 4 その他、企業の人材活用に関する自治体の認定を受けている（長野県職場いきいきアドバンスカンパニーなど）
- 5 上記のいずれの認定も受けていない

非正規労働者について

問 23 非正規労働者の雇用状況について、あてはまるもの1つに○をしてください。

- 1 欠員補充、代替要員等の一時的な雇用。
- 2 一年を通じて繁忙期等の特定時期のみ雇用。
- 3 年間を通じて継続的に雇用。
- 4 その他（具体的に
- 5 非正規労働者を雇用していない。→ 問 24 回答不要

問 24 非正規労働者を雇用している理由について、あてはまるもの3つまで○をしてください。

- 1 雇用量調整が容易なため。
- 2 職種や業務によって、季節・時期・時間帯ごとの繁閑差が大きいため。
- 3 正社員を雇うよりも経費負担が少なくすむため。
- 4 正社員の雇用が進まないため。
- 5 特別な技術や資格、経験のある人材が必要なため。
- 6 技能の要らない単純作業が多いため。
- 7 正社員の週休・年休や休憩時間などを補うため。
- 8 再雇用や勤務延長の結果として。
- 9 その他（具体的に

問 25 今後の非正規労働者の活用方針について、あてはまるものすべてに○をしてください。

- 1 景気動向に柔軟に対応するため活用したい。
- 2 時期的・時間帯で業務量が集中する職場で積極的に活用したい。
- 3 人件費コスト抑制のため正社員に替えて活用したい。
- 4 正社員の人手不足を補うため活用したい。
- 5 特別な技術や資格、経験を要する仕事で活用したい。
- 6 単純作業等で活用したい。
- 7 正社員の労働時間短縮を進めるためにも活用したい。
- 8 結婚・出産等による退職者の再雇用時の勤務形態として活用したい。
- 9 本人の意欲や能力により成績顕著な非正規労働者を正社員や管理職として活用したい。
- 10 その他（具体的に
- 11 非正規労働者を雇用しない。

【ご意見欄】

働く場における男女共同参画の意識について、ご意見などがありましたら記入してください。

以上で調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。

